

ジヨバン・イダルゴ、椎名豊迎えジャズコンサート

11月14日、東川小学校(村田俊昭校長)と東川養護学校(高橋正志校長)で、アメリカ・ニューヨークなどを中心に活躍しているパーカッショニスト(コンガ)、ジヨバン・イダルゴさん、東京などを中心に活動しているジャズピアニスト、椎名豊さんを迎えて、ミニトリオコンサートを開きました。



東小マーチングバンドと一緒にエル・クンバンチェロを共演(東川小学校で)

養護学校では、リズムを取ったり、喝さいする子どもたちと一緒に体育館を進行し、会場と一体のコンサートになりました。東小のミニコンサートは、同日開いた町内の幼児、児童、生徒が出演した「音楽の集い」

今年も好評、パンフ・フィルム・フェス

11月16日、農村環境改善センターで「パンフ・マウンテン・フィルム・フェスティバル in 東川町」が開かれました。同実行委員会(青木倫子実行委員長)の主催。カナダの姉妹町・キャンモアの隣町バンフで毎年開催している映画祭を紹介するフィルムフェスティバル。今年は8本の短編ドキュメンタリー映画を上映しました。



「Reel Rock : Origins Obe & Ashima」は、ニューヨークで生まれ育った日系の9歳の女の子、阿島がボルダリング(フリークライミングの一種)に挑戦して成長していく様子を描きました。スキー、スノーボード、マウンテンバイク、トレイル・ランなど、大自然への挑戦、自然の美しさや驚異を映し出した作品がずらり。町内在住のプロスノーボーダー、中川伸也さん出演の「Unicom Sashimi」も厳冬のニセコを美しい映像で描き出しました。

全国から家族連れ、

10月26日、今年も町有林の株主の森(東3号北6線)で植樹を行いました。「水と環境を守る森づくりプロジェクト」5年目を迎え、町の株主制度で町づくりに協力をいただいている全国各地の株主の皆さんが今年も約70人参加してくれました。植林地は東倉沼町有林約0.6㏦。

株主の森植樹

昨年の植林地隣りにアオダモ千本の苗木を植樹しました。横浜市内から家族3人で初めて参加した会社員(40)は「町のホームページから株主制度を見つけて応募しました。旭川は初めて」と大張り切りで約20本の苗木を植樹しました。写真：埼玉県上尾市から参加の女性(63)



は、3年ぶり3回目の植樹。「5年前最初の植樹の時は私一人だけでした。今年は友達を誘ってきたので気持ちよく植樹できました」と森林の空気を満喫していました。

花本さん、キトウシンスキー場を無償整備



キトウシ森林公園キャンモアスキービレッジのリフト直下緩斜面コースのゲレンデが今シーズンから幅広くなって、見違える滑りやすさに大変身します。コースには雪が積もり始めました。ゲレンデは装い新たにもうすぐオープン。

整備したのは、同スキー場で東川大雪スキー少年団を30年以上指導してきた25区、農業、花本信幸さん(66)。無償で改良整備をかって出たのです。10月、所有のパワーショベル、ブルドーザー2台ずつをフル活用し、約1カ月かけてリフト直下のメインコース緩斜面、約50㏦の雑木林を伐採。くぼ地になっていた沢地を凹凸のないコー

スに改良しました。パワーショベル1台はこの整備のために新たに購入したそうです。「雑木林が毎年邪魔だったけれど、これでのびのびとレースのコースづくりができる。30旗門以上のコースを設定できるよ」。ゲレンデは毎年2月、キャンモアAGSL(大回転)大会場として200人以上のちびっ子選手が競います。旗門審判員を担当してコースを知り尽くしてきただけに「長年気になっていたんだ」と出来栄に満足そう。

キトウシ公園で植樹祭

11月2日、キトウシ公園駐車場で桜の木の植樹祭をしました。昨年キトウシ森林公園に造成した駐車場外周を桜並木にと東川環境保全推進クラブ、森林(もりりん)、宇山夕香里代表と役員職員振興会の親子連れ約60人がニトリザクラとエゾヤマザクラ100本を植樹しました。



ニトリザクラの樹高は約2㏦。20本を駐車場出入り口付近にまとめて植樹しました。2007(平成19)年、出張で発見されたエゾヤマザクラの変種ということ。淡いピンク色の花弁はエゾヤマザクラより一回り大きいのが特徴のようです。エゾヤマザクラは80本。樹高約3㏦に育った7年生の幼木で、大きく育っているため2、3人がかりの植樹作業。しっかりと定着すれば、来春5月に開花を楽しめるかもしれません。(株)ニトリホールディングス(東京、似鳥昭雄社長)のニトリ北海道応援基金4年目の植樹です。

ライオンズクラブ、東中で薬物乱用防止教室

11月18日、東川ライオンズクラブ(藤田裕三会長)が東川中学校(森雅則校長)で全校生徒を対象に薬物乱用教室を開きました。

違法薬物、大麻、脱法ハーブなどの乱用と低年齢化が問題となっているそうです。生徒たちとその危険性を訴え、未然に使用を防止しようというもので、麻薬性のある薬物を投与することで無気力、狂暴化するラット実験の様子、薬物乱用によって委縮してしまった脳

の画像、脳に与える影響とダメージの大きさなどをビデオ学習しました。同ライオンズクラブの横幕義信さんは「シンナーを乱用するのは小、中学生が圧倒的に多い。その後の交友関係を比較すると、乱用後は70%が非行グループとの付き合いに変わる」「脳の成長初期段階ほど薬物の影響を受ける」「シンナーは溶剤なのでタンパク質を溶かす性質がある。脳もタンパク質でできているので溶けてしまう」などと

